

中学部 作業学習指導案（軽作業グループ）

1. 単元名 「畑作業をしよう！」

2. 指導についての考え方

(1) 生徒の実態

生徒構成は〇〇名（1年〇名，2年〇名，3年〇名）で，2・3年生の半分の生徒は昨年度からの継続である。生徒のほとんどが，室内での細かい作業の継続は苦手である反面，暑さ寒さを気にせず屋外の伸び伸びとした活動を好む。全員が簡単な言語指示を理解できる。また，教師の指示だけでなく，友達や集団全体の動きを意識しながら活動する場面も見られる。

現在の各生徒の実態から，また，担任との個別対応が必要なグループ（〇名）と集団で活動するグループ（生徒〇名に教師〇名）の二つに分かれて活動している。

(2) 単元設定の理由

以上の実態から，本軽作業グループでは屋外で体を動かす畑作業を中心として計画を進めている。なお，天候や季節的な条件で実施できない場合は，缶潰し，土運び，廊下清掃を設定している。

(3) 支援にあたっての考え方

○教材教具の工夫

- ・毎回の活動内容をイメージしやすいよう，教室に集合の際は，大きな絵カードで内容を提示し，作物や道具などは実物を用いて説明を行う。
- ・見通しを持って行動しやすいよう，作業の活動範囲を，フープを置き，移動，運搬の目的地等にコーンをたて，明確に示しておく。

○場の工夫

- ・生徒どうしで互いの活動が見えやすいように考慮して，生徒の活動場所を設定する。
- ・落ち着いて作業しやすいように，また生徒の活動場所をはっきり示すために，腰かけ等の用具を準備する。

○教師の関わり方の工夫

- ・活動の意欲を高めるために，場合によっては教師と生徒の「約束カード」を使い，意欲だけでなく教師との信頼関係も深める。
- ・活動の意欲を次回につなぐため，作業が終わって教室に戻り，チョコレートを食べながら楽しくお互いの労をねぎらい合う雰囲気を作る。

3. 単元目標

- 1) 楽しく作業に取り組むことができる。
- 2) 自ら進んで作業に取り組むことができる。
- 3) みんなと協力して作業に取り組むことができる。

4. 生徒の実態と、個別の目標

	A男（○年）	B女（○年）
個別の指導計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて作業に取り組める。 ・作業の流れに沿って行動し，継続して取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を理解し，一人で取り組めることを増やす。 ・道具の使用方法がわかり，安全に使うことができる。

単元に関わる実態	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の動作を見て活動の内容を理解することができる。 ・簡単な言葉で簡単な作業内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業と休憩の流れに沿って参加することができる。 ・流れを見通して落ち着いて作業に取り組むことが少しずつできてきた。
単元における目標	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて作業に取り組める。 ・作業の内容を理解し，流れに沿って継続的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの作業の流れに見通しを持って落ち着いて参加することができる。 ・教師や友達の動きを見て，いっしょに活動することができる。 ・作業においては，休み時間が終わると，少ない声かけで自分から進んで戻ってきて作業に取り組むことができる。
支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・絵で作業内容を示し，フープ内の草を取る，コーンを目標に草を運ぶ等，視覚的に理解しやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容をわかりやすく指示し，終わりが具体的にわかるようにする。 ・手本を見せたり適宜声かけをしたりしながら道具の使い方の理解を図る。

(4) 展開 A男(○年)

学習内容・活動	A男(○年) 本時の目標(評価の観点)
	<ul style="list-style-type: none"> ○指定された範囲の草を取ることができる。 ○繰り返し一人で草を畑に運ぶことができる。
	<p>A男(○年) についての 支援の工夫</p>
1. 中○の○に集合	○ 自分の教室より集合場所に移動することを告げる。
2. はじめの挨拶 13:30～	○ はじめの挨拶を発語するようにし、作業の意識付けをする。
3. 本時の内容を知る 移動開始～運動場南側	○ 本時の内容を把握できるように絵を見せながら説明する。
4. 作業開始 13:40～ 草取り	○ 道具の準備(草取り鎌・しょうけ・フープ)
	○ 草を取る範囲をフープで囲って示し、その中の草を取るようにする。
草集め	○ まず自分の手で草を抜くように声かけをする。
	○ 次に、抜きにくい草は教師が鎌で草の根を掘り起こし、抜きやすくしておく。
草を畑の畝に運ぶ	○ 対面で教師が例示し、それを見ながら自分で鎌を持って根を切るとるようにする。
	○ 取った草を自分でしょうけに入れる。
	○ 草をおく場所にはコーンを置いておく。一度目は教師が連れて行くが2回目以降は自分でいって戻ってくるようにする。
5. 後片付け 14:00～	○ 教師の指示を聞いて草を畑まで持って行く。畝の中に入れる。
	○ 往復作業であることを知らせ、声をかける。
6. 中○の○教室に再集合 14:05～	○ 使った道具を集め倉庫へ片付けるように声をかける。
	○ 再び絵カードを見せながら今日がんばった内容を振り返る。
7. 終わりのあいさつ 14:15	○ 互いの労をねぎらい、次回の作業への期待を持たせる。
	○ 終わりの挨拶を発語するようにして作業の終わりの意識付けをする。

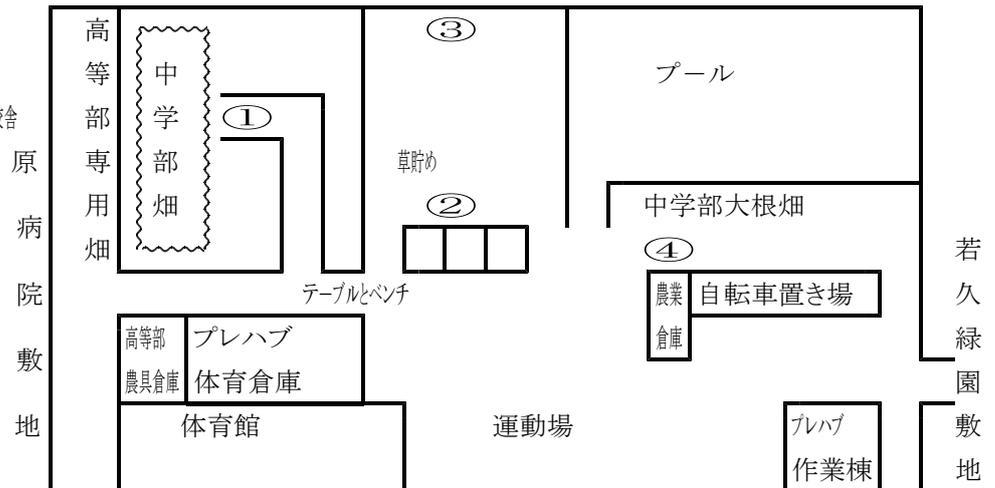
5. 指導計画・・・計52時間

月	単元	主な活動内容
4	○「畑作業をしよう」	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><畑作業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・草取りと夏野菜畝準備 </div> <div style="width: 45%;"> <p><その他の作業></p> </div> </div>
5	○「缶潰しをしよう」	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜の苗植え <ul style="list-style-type: none"> ・缶潰しとプルタブ除去 </div>
6		<ul style="list-style-type: none"> ・玉葱と馬鈴薯の収穫
7		<ul style="list-style-type: none"> ・甘藷の畝作りと苗植え
9		<ul style="list-style-type: none"> ・大根種まきと夏野菜収穫
10	○「砂を運ぼう」	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜と甘藷の収穫 <ul style="list-style-type: none"> ・運動場の平滑整地 </div>
11		<ul style="list-style-type: none"> ・畝作りと玉葱の苗植え
12		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度夏野菜の畝作り <ul style="list-style-type: none"> ・玄関と廊下の清掃 </div>
1	○「廊下掃除をしよう」	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大根の収穫と畝作り <ul style="list-style-type: none"> ・バザーでの販売活動 </div>
2		<ul style="list-style-type: none"> ・馬鈴薯の種芋植え
3		<ul style="list-style-type: none"> ・次年度夏野菜の畝作り

6. 本時について

(1) 作業環境（主に運動場南側）

- 13:30~集合時
中〇の〇教室2F北側校舎
- 13:40~作業開始
前半 草取り 草集め
②③④
- 後半 草運び
①②③
- 14:00~
後片付け
- 14:05~14:15
中〇の〇教室に集合



(2) 準備

- ① 手じょうけ(生徒分) ② プラスチック腰かけ(生徒分) ③ 草取り鎌(生徒+教師分)
- ④ 軍手(必要な生徒分) ⑤ 松葉箒(数本) ⑥ コーン(2個)

(3) 本時の目標

- 取った草を指定の場所に運び、集める活動ができる。
- 畑に草を運ぶ活動を、繰り返し一人で行うことができる。

展開 B (〇年女)

学習内容・活動	B (〇年女) 本時の目標 (評価の観点)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの作業の流れに見通しをもち、落ち着いて参加することができる。
	B (〇年女) についての 支援の工夫
1. 中〇の〇教室に集合	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業の時間を予告し、タオル・水筒・帽子などを一人で準備するように促す。 ○ 自分の教室より集合場所に移動する事を告げる。
2. はじめの挨拶 13:30~	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめの挨拶を発語するように促し、作業の始まりを意識付けする。 ○ 作業内容を把握できるように絵カードをはっきり提示する。
3. 本時の内容を知る 移動開始~運動場南側	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動場所をはっきり告げ、グループの流れに沿って一人で行動できるようにする。
4. 作業開始13:40~ 草取り 草集め	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道具の準備(草とり鎌・軍手・しょうけ・フープ) ○ フープで範囲を指定し、その中の草を取るようにしたり、フープの中に入り、手の届く周りの草を取るように声をかける。 ○ 作業方法の選択を促す。 ・草を手で抜く ・草を握って、鎌で根元から切る。 ・最初に草の根を鎌でおこし、手で抜く。
草を畑の畝へ運ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ しょうけに入れる量(自分で抜いた草)をやや少なめにし、決められたコーンの所へ運ぶ回数を多くする。 ○ コーンの位置をはっきり知らせる。又、往復作業である事などを知らせ、声をかける。
5. 後片付け 14:00~	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草を畑まで持って行き、うねの中に入れるように声かけをする。 ○ 決められたところまで一人で持って行く。又、往復作業である事などを知らせ、声をかける。
6. 中〇の〇教室で再集合 14:05~	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使った道具を集め、倉庫へ片付けるように声をかける。
7. 終わりのあいさつ 14:15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集合場所までグループの流れに沿って、一人で行動できるようにする。 ○ 絵カードを見せながら、今日頑張った内容を振り返る。 ○ 互いの労をねぎらい、次回の作業へと期待をつなぐ。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 終わりの挨拶を発語するように促し、作業の終わりの意識付けする。

1. 単元名 「缶潰しをしよう」

2. 本時の目標

- ・自ら進んで缶を潰す作業に参加することができる。
- ・みんなと一緒に作業を継続して行うことができる。

3. 本時 11月21日（水曜日）5校時 13:30～中〇の〇4教室集合
その後児童生徒用玄関にて活動

4. 展開

学習活動（全体）	学習活動	指導上の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> ・中〇の〇教室集合 13:30～ ・P会議室横に道具を取りに行く 13:35～ ・児童生徒用玄関にて作業開始 13:40～ 	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>Aグループ （個別対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がつぶす分の缶入りのカゴを持って教師とともに移動する。 ①プルをはずす②手をつぶす③金槌でつぶす④潰し器でつぶすの基本の流れの1部か全てを教師とともに行う </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>Bグループ （集団活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潰し器や缶入りのビニール袋をそれぞれ持って移動する。 ①～④までの流れのどれかを担当する。 ・缶の受け渡しやつぶれた缶の点検も一つの仕事分担とする。 </td> </tr> </table>	<p>Aグループ （個別対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がつぶす分の缶入りのカゴを持って教師とともに移動する。 ①プルをはずす②手をつぶす③金槌でつぶす④潰し器でつぶすの基本の流れの1部か全てを教師とともに行う 	<p>Bグループ （集団活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潰し器や缶入りのビニール袋をそれぞれ持って移動する。 ①～④までの流れのどれかを担当する。 ・缶の受け渡しやつぶれた缶の点検も一つの仕事分担とする。 	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>Aグループ （個別対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カゴを前にして開始前に教師と今からの活動のイメージを共有しておく。 ・Bグループの活動を時々意識するように声掛けをする。 ・途中Bグループ生徒と缶のやり取りをしながら、流れの中に入れてもよい。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>Bグループ （集団活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先にAグループが道具を取りに行った後に行くことを押さえておく。 ・持って行く道具は生徒の選択に任せるが、選択に悩む生徒には前回使っていたものを渡す。 </td> </tr> </table>	<p>Aグループ （個別対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カゴを前にして開始前に教師と今からの活動のイメージを共有しておく。 ・Bグループの活動を時々意識するように声掛けをする。 ・途中Bグループ生徒と缶のやり取りをしながら、流れの中に入れてもよい。 	<p>Bグループ （集団活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先にAグループが道具を取りに行った後に行くことを押さえておく。 ・持って行く道具は生徒の選択に任せるが、選択に悩む生徒には前回使っていたものを渡す。
<p>Aグループ （個別対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がつぶす分の缶入りのカゴを持って教師とともに移動する。 ①プルをはずす②手をつぶす③金槌でつぶす④潰し器でつぶすの基本の流れの1部か全てを教師とともに行う 	<p>Bグループ （集団活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潰し器や缶入りのビニール袋をそれぞれ持って移動する。 ①～④までの流れのどれかを担当する。 ・缶の受け渡しやつぶれた缶の点検も一つの仕事分担とする。 					
<p>Aグループ （個別対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カゴを前にして開始前に教師と今からの活動のイメージを共有しておく。 ・Bグループの活動を時々意識するように声掛けをする。 ・途中Bグループ生徒と缶のやり取りをしながら、流れの中に入れてもよい。 	<p>Bグループ （集団活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先にAグループが道具を取りに行った後に行くことを押さえておく。 ・持って行く道具は生徒の選択に任せるが、選択に悩む生徒には前回使っていたものを渡す。 					
<ul style="list-style-type: none"> ・片付け14:00～ ・中〇の〇教室に再集合14:05～ ・終わりの挨拶 14:15 	<ul style="list-style-type: none"> ・AグループがBグループの活動の流れの中に入っても良い。 ・最終的に完全につぶれた缶は一つにまとめ〇の〇教室に持って行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業時に道具や場所を変えてみるように促す場合がある。 				